

# 社会資本総合整備計画(防災・安全) 事後評価書

平成27年11月26日

計画の名称	1 札幌市内における総合的な浸水対策の推進				
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	札幌市		
計画の目標					

本整備計画内の河川を対象とした、10～50年に1度程度発生する規模の降雨に対して、治水安全度を向上させる。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・本整備計画内の対象河川における洪水による氾濫から守られる区域の割合を59% (H22) から90% (H26) に向上させる。

定量的指標の定義及び算定式

10～50年に1回程度発生する規模の降雨での想定氾濫区域面積のうち、河川整備により氾濫が防御される区域の面積の割合

$$\text{氾濫防御率(\%)} = \frac{\text{氾濫防御区域の面積(ha)}}{\text{想定氾濫区域の面積(ha)}}$$

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H22当初)	中間目標値	最終目標値 (H26末)	
59%	-	90%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	3,153百万円	A	3,153百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---------------------------	------

## 事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画期間終了後、札幌市にて事後評価を実施した。	平成27年11月
	公表の方法
	札幌市ホームページにて公表

### 1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 河川事業 ※都市基盤河川改修事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A-1	河川	都市	札幌市	直接	-	都市基盤1	改修	石狩川圏域都市基盤河川改修事業 (丘珠藤木川)	護岸・掘削 (L=0.02km)	札幌市	■■■					14	
A-2	河川	都市	札幌市	直接	-	都市基盤2	改修	石狩川圏域都市基盤河川改修事業 (手稲土功川)	護岸・掘削 (L=0.03km)	札幌市	■■■					42	
A-3	河川	都市	札幌市	直接	-	都市基盤2	改修	石狩川圏域都市基盤河川改修事業 (西野川)	護岸・掘削 (L=0.11km)	札幌市	■■■					148	
A-4	河川	都市	札幌市	直接	-	都市基盤1	改修	石狩川圏域都市基盤河川改修事業 (モエレ中野川)	護岸・掘削、橋梁等 (L=0.70km)	札幌市	■■■					543	
小計																747	

交付対象事業																	
A1 河川事業 ※流域貯留浸透事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A-5	河川	都市	札幌市	直接	-	流貯1	改修	石狩川圏域流域貯留浸透事業 (伏籠川流域)	流域貯留施設 (15箇所)	札幌市	■■■					701	
A-6	河川	都市	札幌市	直接	-	流貯1	改修	石狩川圏域流域貯留浸透事業 (望月寒川流域)	流域貯留施設 (10箇所)	札幌市	■■■					494	
小計																1,195	

交付対象事業																		
A1 河川事業 ※総合流域防災事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
A-7	河川	都市	札幌市	直接	-	広域系1	改修	石狩川圏域総合流域防災事業 (篠路拓北川)	護岸・掘削、橋梁等 (L=1.55km)	札幌市	■■■					408		
A-8	河川	都市	札幌市	直接	-	広域系1	改修	石狩川圏域総合流域防災事業 (雁来川)	護岸・掘削、橋梁等 (L=0.96km)	札幌市	■■■					388		
A-9	河川	都市	札幌市	直接	-	準用2	改修	石狩川圏域総合流域防災事業 (アカシア川)		札幌市	■■■					0		
A-10	河川	都市	札幌市	直接	-	準用2	改修	石狩川圏域総合流域防災事業 (新発寒桜川)	掘削 (L=0.71km)	札幌市	■■■					48		
A-11	河川	都市	札幌市	直接	-	準用2	改修	石狩川圏域総合流域防災事業 (富丘川)	護岸・掘削 (L=0.11km)	札幌市	■■■					80		
A-12	河川	都市	札幌市	直接	-	準用1	改修	石狩川圏域総合流域防災事業 (新琴似川)	護岸・掘削、橋梁等 (L=0.39km)	札幌市	■■■					287		
小計																1,211		
合計																	3,153	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
B-1																
													合計	0		
番号 一体的に実施することにより期待される効果															備考	
B-1																

  

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
C-1	河川	都市	札幌市	直接	-	河川情報システム整備	札幌市河川情報システム整備		札幌市						0	
													合計	0		
番号 一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C-1	基幹事業（A）のハード対策と河川情報システム整備によるソフト事業を連携して行い、札幌市内の水位情報を把握し、洪水被害軽減の効率化を図る。															

その他関連する事業（H24のみ地域自主戦略総合交付金にて事業を実施した）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A-4	河川	都市	札幌市	直接	-	都市基盤1	改修	石狩川圏域都市基盤河川改修事業（モエレ中野川）	護岸、掘削、橋梁等（L=0.70km）	札幌市	■	■	■	■	■	81	
A-5	河川	都市	札幌市	直接	-	流貯1	改修	石狩川圏域流域貯留浸透事業（伏籠川流域）	流域貯留施設（15箇所）	札幌市	■	■	■	■	■	193	
A-6	河川	都市	札幌市	直接	-	流貯1	改修	石狩川圏域流域貯留浸透事業（望月寒川流域）	流域貯留施設（10箇所）	札幌市	■	■	■	■	■	178	
A-7	河川	都市	札幌市	直接	-	広域系1	改修	石狩川圏域総合流域防災事業（篠路拓北川）	護岸、掘削、橋梁等（L=1.55km）	札幌市	■	■	■	■	■	104	
A-8	河川	都市	札幌市	直接	-	広域系1	改修	石狩川圏域総合流域防災事業（雁来川）	護岸、掘削、橋梁等（L=0.96km）	札幌市	■	■	■	■	■	86	
A-12	河川	都市	札幌市	直接	-	準用1	改修	石狩川圏域総合流域防災事業（新琴似川）	護岸、掘削、橋梁等（L=0.39km）	札幌市	■	■	■	■	■	54	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況														
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況				・河川改修や流域貯留施設の整備を進めたことにより、治水安全度が向上している。										
II 定量的指標の達成状況				指標① (氾濫防御率)	最終目標値	90%	目標値と実績値に差が出た要因	・河川改修のための用地買収交渉が難航するなど、河川改修の一部が計画通り実施できず目標値と実績値に差が出た。						
					最終実績値	79%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）				・治水整備と併せて多自然川づくりを進めることで、多様な河川環境が保全・創出されている。										

3. 特記事項（今後の方針等）													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収交渉が難航した箇所について、引き続き交渉を続け、治水安全度の早期向上を図る。</li> <li>・今後も着実に河川改修および流域貯留施設の整備を進め、大雨に強いまちづくりを進めていく。</li> </ul>													

